



きりんぐみだより

ヘルマーとホルマーの だいぼうけん

こども会特集号

土曜日はいよいよ子ども会です。今週は他学年の幼児に劇遊びを見に来てもらい喜びが高まっています。おうちの人に見てもらえることも楽しみにしています。当日は、温かく見守っていただけると有難いです。そして、ぜひ一緒にお話を楽しんでください！

さて、年長組では、子ども会に向けた活動を進めていく中でこのようなことができるようにと願い、指導をしてきました。

1つの目的に向かって、友達と
思いや考えを出し合いながら
協力して取り組む楽しさを味わう。

学級のみんで1つのものをつ
くり上げることを通して、友達
のよさに気付いたり、認め合っ
たりし、つながりを深めていく。

一人一人の力が合わさると
大きな力になることに気づき、
自分の役割の中で、力を出そう
とする。

当日はもちろん、これまでの活動の中に、子どもたちの成長がたくさん見られました。取り組みの過程をご覧いただき、お子さんの、そしてきりん組みんなが楽しんできたこと、頑張ってきたことを思い浮かべながら、当日参観いただければと思います。

大好きなエルマーごっこ、みんなでしようよ！

2学期に何日も継続して読んできた『エルマーのぼうけん』。続きが気になり予想したり、絵本を借りたりし、話に親しんできました。好きな遊びでは、船に乗って動物島まで向かえるような遊び場を作り、友達や年少組を乗せたエルマーごっこをしている姿も見られていました。学級でもみんなでエルマーになりきって冒険をしたり、動物になりきって動いたりし、絵本の世界のイメージの中で、身体で表現することが楽しくなっていた頃・・・「お客さん呼んで劇にしたいね」「子ども会でやろうよ」といった声が聞こえてきました。みんなが大好きなことや楽しいことをみんなと行事でやりたい！！という思いを発信していく姿や「いいねいいね」と受け止めていく姿に、学級のつながりが見られた瞬間でした♡



きりん組バージョンのエルマーのぼうけんということで、エルマーの相方をつくり、名前を考えました。エルマーだけでなく、ヘルマーくん、ホルマーくんというアイデアが出ましたが、1つに決まりません。ホルマー希望の子が多かったのですが、ヘルマーがいいという友達の気持ちも考え、2日間悩みました。そして考えついたのが、「エルマーをやめてヘルマーとホルマーにしよう！」という考えです。「人数が多い方で決まりにする」「自分の意見がいいと主張する」ではなく、みんなが納得するアイデアにたどりつこうとする姿からは、相手の考えを受け止めようとする気持ちや共に考えを出し合う楽しさをこれまで積み重ねてきたことでの心の成長を感じます♡

ということで、タイトルは『ヘルマーとホルマーの だいぼうけん』です。

グループで劇遊び！

役が決まると、劇の場面を5つに分け、各グループで子どもたちが台詞や動きを決めていきました。みんなで劇遊びをしてきたことで、話の流れが十分に分かっていたため、ストーリーにあった台詞を考えつく様子が見られました。台詞に迷う子も、「こんな言葉はどう？」と同じグループの友達が提案してくれたことで決められました。

好きな遊びの中でグループごとに取り組みましたが、「自分の遊びをしたい」ではなく、学級のみennaと劇遊びをするという意識や、グループのみennaと進めようとする気持ちが育ってきているからこそ、自分たちで声を掛け合って集まり、取り組んでいました。



グループごと集まる時間を決め、視覚的に表示をし、自分たちで始められるようにしました。

友達の素敵なおところ みつけたよ！

グループでの劇遊びで動きや台詞が決まってくると、遊戯室に行きみんなで劇遊びをしていきました。5グループの劇をつなげていくと、自分の出番でない時間もあります。出番でない時に、友達をよく見て、素敵なおところを見つけ伝えていくことを大切にしてきました。

ただ「カッコよかった」ではなく、細かなところをよく見て（本物らしい表情、動き、鳴き声、声の大きさ等）友達の素敵なおところが見つけられるようになっていきます。一生懸命表現しているところを友達に認めてもらえると、うれしそうにする子どもたち。褒めてもらったことが自信となり、さらにのびのびと、堂々と表現する姿につながったり、「自分もっとよくなるように」と友達から刺激を受けたりしています。互いに認め合うことで、みんなの表現や劇自体がどんどん楽しくなっていました。



自分たちでできるよ！ ぼく、わたしの出番で力を出すぞ！

お話が進む中で周りの背景を変えていく必要があります。みんなで劇遊びをしていた時から、「海だから波を出そう」「みかん島についたからみかんの木を出そう」等、必要な大道具を自然と動かしていました。そのような裏方の役割も「自分たちでできる！」「先生はやらなくていいからね！」とやる気満々です。昨年までだったら教師がやっていたようなことも、自分たちでできるんだ！という自信をもっています。様々な行事をみんなで力を合わせてやり遂げた達成感がつながっていることでしょう。

裏方の役割はとても難しいです。自分が表現することと違い、友達の表現をよく見て、タイミングよく物を動かしたり、楽器を鳴らしたりしないといけないからです。そのような難しさや大事な仕事であることを十分に知らせた上で、どの役割を誰が行うのかみんなで決めました。みんなで劇を作り上げる意識と、そのために一人ひとりの役割が大事であることが感じられるようになってきたからこそ、出番で自分の力を一生懸命出そうとしています。



こんなものが欲しいな！一緒に作ろう！

劇で身に付けるもの、大道具や小道具は全て自分たちで作りました。必要なものに気付き、色やデザインを友達と決めています。同じグループや役の友達と作れるようにしたり、一人では難しい工程にしたりしました。そのため、教え合う、助け合う、作業を分担する等をし、力を合わせて作ることを楽しんでいました。



<あらすじと役紹介> ※敬称略

【1グループ】

ヘルマーとホルマーは、公園で助けたネコから、動物島には猛獣たちに捕まったリュウがいることを教えてもらいます。優しい2人は助けに行くことにしました。さあ、無事にたどり着けるでしょうか？

【2グループ】

元気いっぱいのトラがやってきました。トラは遊んでいるうちにおなかのすいてきたようです。食べられないように、ヘルマーとホルマーはどうやって逃げたのでしょうか？

【3グループ】

次に現れたのはダンスが好きなライオン。しかし、ライオンは急に何かにイライラし始めます。ヘルマーとホルマーはどのようにしてライオンを喜ばせたのでしょうか？

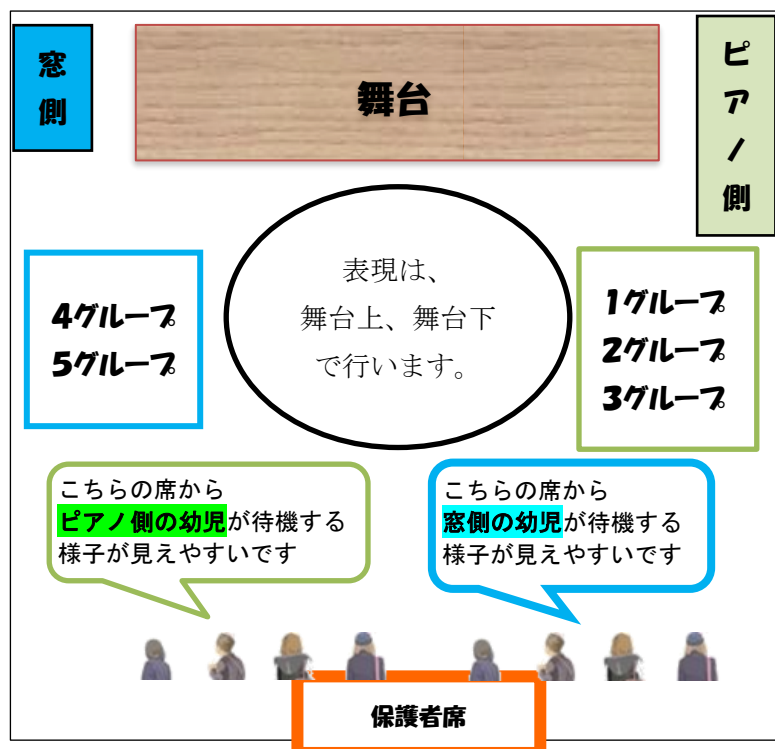
【4グループ】

次に現れたのは陽気なゴリラ。しかし……。ゴリラは何かに困っているようです。ヘルマーとホルマーはどのようにしてゴリラを助けるのでしょうか？

【5グループ】

ようやくリュウのもとへたどり着きました。しかし、川があり、渡れません。川には大きなお腹をすかせたワニがいます。ヘルマーとホルマーはリュウを助けられるでしょうか？

<子どもたちが座る位置>



<お願い>

- 昨年までとは違い、友達と一緒に言葉をするのではなく、一人で台詞を言います。緊張する姿もあると思いますが、よく聞いてください。
- 台詞がなくても、仕草、表情や鳴き声での表現もしています。細かな表現にもご注目ください。
- 子どもたちの表現、考えた台詞には「くすっ」と笑いたくなるような場面もあります。子どもたちはお話の世界に入っていますので、「声を出した笑い」ではなく、「静かな微笑み」をお願いします。（劇が終わったら思いきり笑っていただいてOKです！）
- 歌や踊りの場面では手拍子で盛りあげてください！そして、最後は、大きな拍手をお願いします。

<服装・髪型について>

- 12月5日（金）と12月6日（土）は、白の上着、紺の半ズボンです。
- 劇で被る帽子は、自分の頭の大きさを測って作ったピッタリサイズの帽子で、伸び縮みしません。髪の長いお子さんは必ず耳より下の位置で結んできてください。